

食と農と暮らしと。あなたをリードするアクティブ・マガジン

# かながわ西湘

2026

3

vol.234



## 農業で人の縁を結ぶ

荻野 巖さん  
山北／山北町向原

水稲16a、カンキツ約8a、  
露地野菜約2a、レモン販  
売運営委員会福沢地区代表、  
やまきた野菜くらぶ会長

農業で人を結び、地域を元気に……。小田原で生まれ育った荻野さんは結婚を機に、山北町に移住し、妻の実家で田植えや稲刈りなど手伝いながら農業を始めました。退職後は農業一筋。当初は作物の栽培やJA組織も分かりませんでした。が、運営委員代表を務めることをきっかけに、地域と農家を元気にすることを決意。平成28年に『やまきた野菜くらぶ』を設立。27人の仲間とタマネギやニンジン、ジャガイモなどを栽培し、学校給食に提供しています。平成30年からニンニク栽培も手掛け、令和3年に『やまきたニンニク』として町のブランドに認定。今では輪も広がり、会員は40人ほどになりました。

レモン栽培は5年前からスタート。苗木を植えて増やし『湘南潮彩レモン』としてJAに出荷。荻野さんは「農業はゼロからのスタートだったが仲間ののおかげで続けられた。これからも人のつながりを大切に、地域を農業で盛り上げていきたい」と意気込みを語っています。

## 地域に欠かせないJAとして

～新年度より7エリアで始動～

当組合は持続可能な経営基盤の確立を目指し、店舗再構築を令和6年度から進めています。本年4月13日からは最後の第3グループが始動し、管内7つのエリアとして事業・活動を展開してまいります。

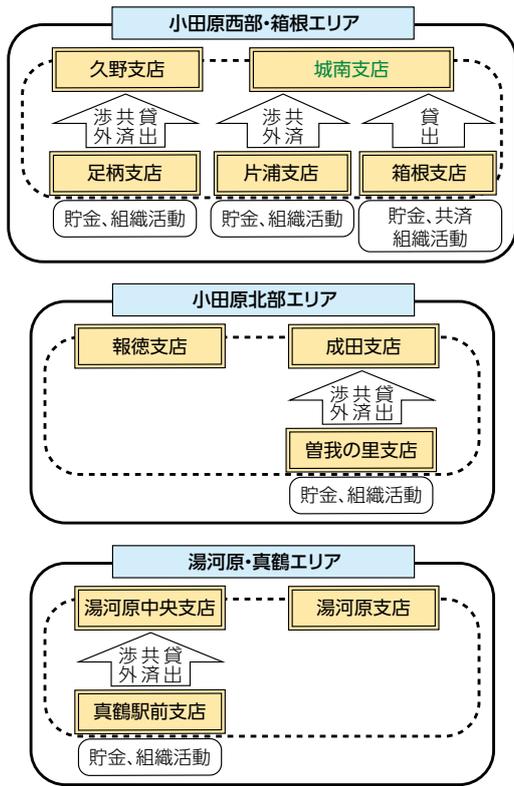
JAでは持続可能な協同組合として既存の店舗を可能な限り維持しつつ、支店の業務形態等を分類した新エリア構想を進めています。令和6年4月からは南足柄市にある4支店の機能を再編。また、昨年の令和7年4月からは第2グループとして『山北・開成エリア』・『大井・松田・中井エリア』・『小田原東部エリア』を3つのエリアとした新たな業務形態に移行いたしました。

令和8年4月13日には第3グループ『小田原西部・箱根エリア』・『小田原北部エリア』・

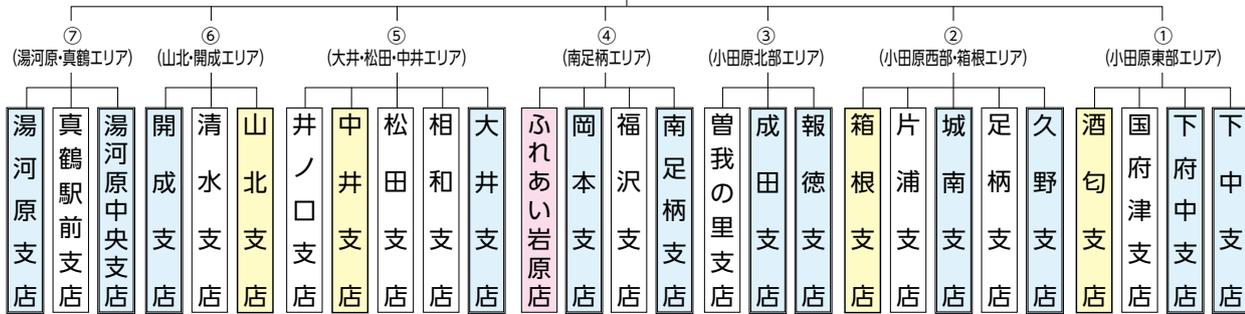
『湯河原・真鶴エリア』の3つのエリアが始動します。各エリア内では金融・共済窓口・渉外業務などの全業務を行う『金共フル』、金融・共済業務は行うものの融資業務（貸出）は取扱いしない『貸移金共』、貯金窓口業務のみを行う『貯特』と業務形態が異なります。なお、ATM、支店運営委員会等の組織は引き続き存置いたします。組合員・利用者の皆さまにおかれましてはご不便・ご負担をおかけ

### 第3グループ

令和8年4月13日(月)より



### 全エリア展開後の業務形態 (イメージ)



※ ふれあい岩原店 はATM機能のみとし、組合員からの相談を担う店舗

注) 支店の表記   :金共フル   :貸移金共   :貯特

けいたしますが、ご理解とご協力  
いただきますようお願い申し上げます。

## 理事会だより

～主な議題～

令和8年1月16日

◆令和7年度贈答用ミカン・キウイ・梅干の取扱い結果について

昨年末にお取扱いした贈答用ミカン・キウイフルーツ・梅干の販売結果が報告されました。生産者の減少から取扱実績、販売金額が前年よりも縮小しました。ミカン合計は前年を468ケース下回る1,514ケース、キウイフルーツ合計は前年を114ケース下回る361ケース、梅干は前年を24ケース下回る16ケースとなりました。販売金額合計も前年を25万円下回る717万円となりました。

◆令和7年度かながわ西湘貯蓄キャンペーンの結果について

地域の子どもたちに「安全・安心」な農産物を「子ども食堂」を通じて支援する『子ども食堂応援定期貯金』が令和7年10月1日(水)から12月30日(火)まで実施され、目標金額50億円に対し55億1700万円の実績がありました。また預入れされた定期貯金総額の0.01%(50万円)相当額の農産物(お米・ミカン・足柄茶等)を『特定非営利活動法人 神奈川子ども食堂・地域食堂ネットワーク』に寄付する報告がありました。

◆マネロン・金融犯罪対策への取組強化について

金融庁からJAバンクに対するマネロン・金融犯罪等による取組強化の指導を受け、対策リーダー等を設置して役職員の意識醸成をはかることとします。また組合員・利用者の信頼向上のため『組合長トップメッセージ』をホームページで発信する旨の報告がありました。

## カンキツの植え付けについて

### 1年生苗木は直接植え、大苗に育てて植えましょう

温暖化により降雨日数が減少し、カンキツ（特に1年生苗）は、葉からの蒸散と根からの水分吸収バランスがとれず活着が悪くなります。

ルートラップ（不織布ポット）などで大苗に育てることで、根量や細根が増え活着も良好になり、早期結実につながるほか、植え付け後の灌水回数の削減につながります。

#### 植え付け前の苗木管理

①苗木が届いたらすぐにバケツなど2時間以上、根を浸水します。

#### 【その日に植え付けできない時は仮植え】

苗木を斜めに寝かせ、苗木の3分の1くらいが隠れる程度の溝を本数に応じて掘り、苗木を1本ずつ斜めにして、細土をまんべんなくかけたあとさらにムシロやビニール等を被せます。

#### ルートラップ（不織布ポット）への植え付け方法

①1年生の苗木は、15ℓ以上のルートラップ（不織布ポット）などを使用して1～2年間は育苗をしましょう。その際、庭先などで管理すると灌水も容易で早期に育苗することができます。

②用土は土・堆肥・落ち葉またはピートモスを6：3：1の割合で育苗土を作りましょう。

#### 大苗育苗後の植付け

①植え付けは1年目以降2年目までにほ場に移植することで根を痛めず、早期の結実が期待できます。

②1～2年育苗した大苗はルートラップ（不織布ポット）から抜き、そのまま植付けます。植付け方法は1㎡、深さ30cm程度の植穴を掘り、有機物20%（容量）以上をよく混合して植え込み、被覆肥料（エコロング413号140日・180日タイプ）300gを施し、土と混和します。黒色ポリマルチで被覆し、しっかりと支柱を立てて結束しましょう。

※時期は春先、梅雨時とし、乾燥する時期や寒い時期は避けましょう。



## 西湘はるみ米研究会 新規会員募集案内

水稻『はるみ』を品質と食味にこだわって栽培し、研究会ブランド『さかわのめぐみ』の生産・販売に取り組んでいます。

活動内容：勉強会・ほ場巡回・土壌診断・定期総会等

募集期間：令和8年2月24日（火）～3月23日（月）

申込方法：最寄りの支店または営農経済センター（申込書は店舗にも用意してあります）

加入については以下の条件を満たす必要があります。

	必ず取り組む項目	選択条件	3つ以上取り組む項目
必須条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>栽培面積おおむね10a（1反）以上</li> <li>種子更新率100%</li> <li>ほ場ごとの生産履歴の提出、GAPの取り組み</li> <li>調製は1.8mm以上で行う</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>「土壌診断の実施」</li> <li>「稲わらのすきこみ」</li> <li>「堆肥の投入」</li> <li>「春まで2回以上耕うん」</li> <li>「ケイ酸肥料施用」</li> <li>「化学肥料を県基準慣行の30%削減」</li> <li>「化学農薬を県基準慣行の30%削減」</li> <li>「地域の水利に合わせた適期の中干し」</li> <li>「疎植栽培（50株/坪以下）」</li> <li>「元肥+追肥体系」</li> </ul>

※詳細は営農経済センターにお問合せください。

管内でも目撃されています

## クマに注意

### クマに出会わない工夫を！

①山に入る前には目撃情報を収集し、見通しの悪い場所には立ち入らない。

②一人ではなく、二人以上で行動する。

③鈴、笛、ラジオなど音のするものを身につけ、人の存在を知らせる。

### クマを引き寄せないために

①野山に生ゴミや残飯、廃棄果樹・野菜などを捨てない。これらはクマに味を覚え、人里に引き寄せる原因となります。

②山麓の地域では、適切にゴミ処理を徹底し、クマの餌にならないようご注意ください。

③耕作放棄地やヤブ化した土地は、クマなどの隠れ場所となるため、定期的な刈り払いなどの管理を行い、侵入を防ぎましょう。

④クマの出没が確認されている地域では、養蜂場や果樹園などに電気柵を設置しましょう。

※クマを目撃した場合や痕跡を見つけた場合は、直ちに市・町・最寄りの警察署に連絡してください。

※農作物への被害はP4『有害鳥獣被害届』QRコードよりご報告ください。

神奈川県が目撃情報は  
こちらから→



# 営農経済編

DXはデジタルトランスフォーメーションの略で、デジタル技術を活用してビジネスモデルを変革し、価値創造や競争力の向上を目指す取り組みです。デジタル化が進む現代、当JAでは様々な分野でDXが進んでいます。今月は『営農経済部門』での取り組みを紹介します。

## 農業機械利用事業ネット予約

農業機械利用事業で貸し出している農機をスマートフォンやパソコンから簡単に予約できます。インターネット予約なので、申込書の記入が不要。24時間いつでもどこでも予約できます。

QRコードで簡単にアクセス



当JAが全国に先駆けて一番最初に導入しました

① 農業機械または貸し出し場所を選択し検索



② 予約を押す



③ 情報を入力する



④ 利用規約、個人情報保護規約同意を確認し、確認画面へ進むを押す



⑤ 内容を確認後、予約確定をクリック



⑥ 予約完了



入力したメールアドレスに予約完了のメールが届きます

特集

すすむ!

# JAのDX!

## JAねっとショップ

インターネットで手軽に肥料・農薬や食料品等を注文できます。令和8年1月より検索に使用する文字（ひらがな・カタカナ・漢字）の制限がなくなり、検索しやすくなりました。また、生活用品、作業用衣類・靴のサイズが選びやすくなりました。

予約商品も注文ができますので、ぜひご利用ください。

※生活用品に限り配送料がかかりますが、営農経済センターで受け取る場合は無料となります

※ご利用にあたっては口座振替契約を結んでいただく必要があります

### 予約注文方法



## 農作物被害届

イノシシやシカなどの有害鳥獣による農作物被害をインターネットで簡単に報告できます。スマートフォンやパソコンからアクセスし、被害状況を入力してください。



毎月19日は「トク」の日とし、19～21日の3日間限定で、おすすめ商品を特別価格で購入いただけます。

会員登録や注文はこちらから→



農業機械利用事業は農業用機械の購入コストを抑えるために全14機種の貸し出しを行っています。JAの正組合員およびその家族で農地を耕作している農業者や各生産組織で、当組合が開催する講習会を受講された方が利用できます。

※講習会は年2回開催しています。次回は8月頃を予定

詳しくはこちらをご覧ください→



農業機械の取扱い方法をJAかながわ西湘公式チャンネルYouTubeで公開しています。

※2月1日現在、剪定チップパーとハンマーナイフモアを公開中です。今後も続々アップ予定です

動画はこちら



# トピックス TOPICS

## みんなの善意が地域の力に

〜社協・子ども食堂などへ寄贈〜

J Aは毎年、女性部や組合員の協力のもと、12月から1月に各支店へ集められた雑巾やタオル、食品を寄贈する『スマイルボランティア運動』を行っています。食品とタオル類計55箱を管内2市8町の社会福祉協議会と報徳食品支援センターへ寄贈しました。

また、今年度は10月から12月に『子ども食堂応援定期貯金』キャンペーンを実施。皆さまから預け入れられた額をもとに、ミカン・米・足柄茶・梅干など地元農産物、50万円相当を管内13か所の子どもの食堂へ贈呈しました。J Aではこれからも地域貢献活動に力を入れていきます。

小田原市社会福祉協議会へ雑巾を寄贈する女性部員



農産物13か所も贈呈しました

※寄付はJ Aが行っており、預入者様への負担はありません

## 湯河原・真鶴の魅力がいっぱい!

〜農林水産まつり開催〜

J Aは湯河原町・真鶴町・福浦漁協と共催し、湯河原町民体育館で1月24日、四季彩のまち『ゆがわら農林水産まつり』を開きました。メインイベントの農産物共進会では、農家自慢のミカン、野菜が並び、県の職員が外観、糖度などを厳しく審査。表彰式も行われました。販売ブースでは、女性部湯河原支部の特製ジャムと甘酒を販売しました。また、とれたての地場農産物はもちろん、釜揚げシラスなどの海産物も販売。湯河原・真鶴町の特産物であるミカンもPRしつつ、地域住民や来場者が農業への理解を深めるとともに農業者の生産意欲を高めるイベントになっています。



販売ブースでは農産物を求め多くの方が訪れました

## 愛犬と一緒にイチゴ狩り

〜南足柄の小川さんが観光農園〜

南足柄市千津島地区で観光農園『箱根の麓のいちご園』が2月上旬オープンしました。手がけたのは新規就農者の小川巨さん。動物好きの小川さんは「愛犬と一緒に出かけて楽しめる農園を作りたい」と一念発起して使っていないハウスを購入。3棟のハウスで『紅ほっぺ』『ベリーポップすず』『よつぼし』の3品種を栽培しています。園内は犬と一緒に歩きやすいよう通路を広く設計。飲食・休憩スペースも併設しています。小川さんは「犬も家族。一緒に楽しめる農園にしたい」と期待をしています。



生育状況を確認する小川さん

## 県知事賞に斉藤徳雄さん

〜小田原梅干品評会に68点〜

小田原梅干品評会が1月19日に行われました。今年度の出品点数は、生産者の部と一般の部合わせて68点。厳選な審査の結果、生産者の部では斉藤徳雄さんが神奈川県知事賞に、一般の部では小野順子さんが小田原市長賞に輝きました。また、1月30日には小田原市梅の里センターで褒賞授与式が行われました。主な受賞者は以下の通りです。

〔敬称略〕**〔生産者の部〕** 神奈川県知事賞 〓 斉藤徳雄、全国農業協同組合連合会神奈川県本部運営委員会会長賞 〓 市川照子

**〔一般の部〕** 小田原市長賞 〓 小野順子、小田原市農業委員会会長賞

〓 渡邊澄花、かながわ西湘農業協同組合代表理事組合長賞 〓 飯村マサ子

※表彰者の詳細はホームページで公開しています



授与式の様子（前列中央が斉藤さん、右から4人目が小野さん）

## 冬の栃木で交流深める

〜年金友の会親睦旅行に550人〜

年金友の会親睦旅行「日光東照宮初詣と湯西川温泉の旅2日間」が1月19日から2月5日の間、7班に分かれて行われ、年金受給会員約550人が参加しました。『日光東照宮』や『大谷寺』『あしかがフラワーパーク』を見学し、宿泊先では雪景色を楽しむとともに湯西川温泉を堪能。夜の宴会では、余興やカラオケ、抽選会などで大いに盛り上がりました。参加者は「温泉で心も温まり、宴会は仲間と親睦を深めることができました。来年も楽しみにしている」と満足の様子でした。

宴会では余興に拍手喝采



日光東照宮を参拝する参加者

## 祝 足柄茶100周年

〜記念式典・マルシェ開催〜

栽培が始まって100周年を記念し、1月31日に『足柄茶100周年記念式典』が山北町で開催され、茶品評会ならびに茶園共進会の褒賞授与式や功労者表彰式等が行われました。また、100周年記念事業の報告から足柄茶名譽アンバサダーの就任式も行われ、足柄茶の未来に向けて生産者は気持ちを新たにしました。

当日は、『やまきたマルシェ』も開催。

『でいこ』・『でいみ』や『西湘きんじろ』などのご当地キャラクターもお祝いに駆け付け、家族連れで賑わっていました。



功労者表彰を受ける遠藤國雄さん

※表彰者の詳細はホームページで公開しています



# インフォメーション

## 2027新卒採用職員を募集します

応募資格：令和9年3月末に大学・短大・専門学校あるいはそれ同等以上の学校を卒業見込みの方 ※既卒者は除きます  
 職種：総合職（詳しくは『マイナビ』にて確認してください）  
 応募方法：JAかながわ西湘のホームページの採用情報から就職サイト『マイナビ』にアクセスしてエントリーしてください（令和8年3月1日からエントリー可能）

J Aかながわ西湘のホームページ <https://ja-kanasei.or.jp/>

J Aかながわ西湘



詳しくは総務部人事課 ☎ 0465(47)7243 まで

## J Aの検診でイキイキ生活 ~身体のチェックを忘れずに~

### 令和8年度 送迎付き団体日帰り人間ドック（4月～9月計画分）

健診日	支店名	健診日	支店名
令和8年 6月 4日 (木)	大井・開成	令和8年 7月16日 (木)	片浦・城南
令和8年 6月 9日 (火)	湯河原 湯河原中央 真鶴駅前	令和8年 7月17日 (金)	足柄
令和8年 6月10日 (水)	南足柄・福沢	令和8年 7月24日 (金)	開成
令和8年 6月17日 (水)	大井・開成	令和8年 7月29日 (水)	南足柄 福沢
令和8年 7月 1日 (水)	岡本	令和8年 8月 5日 (水)	岡本
令和8年 7月 7日 (火)	下府中 酒匂・成田	令和8年 8月10日 (月)	報徳
令和8年 7月 9日 (木)	山北・清水	令和8年 8月18日 (火)	片浦
令和8年 7月15日 (水)	国府津 曾我の里	令和8年 8月24日 (月)	下中
		令和8年 9月 4日 (金)	山北・清水

### 送迎付き子宮・乳がん検診実施予定（4月～9月計画分）

検診日時	支店名
令和8年 8月 3日 (月) 14:00~	山北 清水 福沢

※検診場所は、健康管理センターあつぎです  
厚木市境3132 ☎046(229)3731

※10月からの令和8年度  
計画分については8月号で  
掲載します

※健診場所は、健康管理センターあつぎです 厚木市境3132 ☎046(229)3731  
※都合により日程が変更になる場合があります

申込時期等は支店により異なりますので、  
詳しくは各支店へ

## 農業労災保険に加入しませんか

農業労災保険は国が保険者となり、労働者（雇用される方）の災害を補償する制度です。下記の内容のいずれか（重複不可）に特別加入できます。

令和7年度における当JAの事故発生件数（12月末受付時点）は15件。斜面からの落下や脚立からの転倒などによる事故がありました。万一来に備え、ご加入ください。

### 特定農作業従事者

一定の経営規模以上、個別経営者の農業者  
（経営耕作面積2ha以上、または年間販売金額300万円以上）

- ①動力により駆動される機械を使用する作業
- ②高さ2m以上での作業
- ③サイロ・むろ等酸素欠乏の危険場所における作業
- ④農薬散布作業
- ⑤牛・馬・豚に接触、またはその恐れのある作業、その他上記作業に直接付帯する作業

### 指定農業機械作業従事者

指定農業機械を使用する農業者

トラクター・自走式田植機・コンバイン・トラック・自走式動力刈取機・動力草刈機・動力脱穀機・チェーンソー・コンベヤーなど

### 中小事業主等

年間100日以上労働者を使用。常時300人以下の労働者を使用する事業主  
（事業者が法人の場合はその代表者）

災害によっては補償されない場合があります

詳しくは各支店、または組織企画部相談課 ☎ 0465(47)8176

## 令和7年度 地域農業応援プログラムの申請はお早めに

令和7年度『地域農業応援プログラム』の各種助成の申請期日は令和8年3月31日（火）です。まだ余裕のある申請項目がありますので、お早目の申請をお願いします。

必要書類：申請書、農業形態がわかる書類、助成対象物の名称が記載された領収書の写し、助成金等の受領書、入金通知書等の写し（補助金等の交付を受けている場合）

※添付書類の領収書や農業形態がわかる書類等の宛先が生計を一にしている方であれば対象となります

※行政等、助成金の受領前でも見込額を差し引いて期日までに申請してください

- ・申請書は各営農経済センター・中井支店・山北支店にご用意しています
- ・期日を過ぎますと助成ができませんのでご注意ください

詳しくは各営農経済センターまたは中井支店・山北支店



JAかながわ西湘

本店 〒250-0874 神奈川県小田原市鴨宮627番地  
TEL:0465(47)8125

- かながわ西湘3月号(vol.234)令和8年2月20日(毎月20日発行)
- 発行/かながわ西湘農業協同組合 ●発行責任者/石塚祐一
- 編集/組織企画部組織広報課

J Aかながわ西湘ホームページ▶<https://ja-kanasei.or.jp/> かながわ西湘

